

菊池環境工場クリーンの森合志で「火入れ式」が執り行われました

令和2年12月10日（木）午前9時から、菊池環境工場クリーンの森合志のごみ焼却施設で「火入れ式」が執り行われました。
 （火入れ式とは、焼却炉が完成した後の運転に先立ち、今後つつがなく安全に運転を続けられることを願うものです。）



火入れ式の様子

環境影響評価事後調査について

平成30年3月に作成した環境影響評価書に基づいて、昨年に引き続き「環境影響評価事後調査」を実施しました。

コベンマイマイ 移動後の生息状況

（殻の直径約1cm）



令和2年7月

令和2年6月にマーキングした個体は確認できませんでした。しかし、次世代となる幼貝個体が確認されたことから本種の生息に適した環境が維持されているものと考えられます。

キノボリタテグモの 移動後の生息状況

（巣の直径約5mm）



令和2年8月

令和元年8月に確認した個体の数は減少したものの新規確認個体は増加しており、総個体数は増加していました。また、巣内で卵塊を抱えるメスも確認され、事業実施区域内において本種の生息は維持されていると考えられます。

地下水調査の実施状況



通年

造成工事等による地下水位の変化を監視するために平成30年10月より自動記録式水位計による24時間連続測定を実施しています。これまでに大きな地下水位の変化は確認されていません。

建設作業騒音、振動調査 の実施状況



令和2年11月

造成工事及び工事用車両の搬入に伴う騒音、振動を監視するため敷地境界4地点において最も繁忙期となる令和2年11月に調査を実施しました。建設作業騒音、振動ともに規制基準に適合していました。

菊池環境保全組合 新環境工場等建設の取組み



～ 菊池環境工場クリーンの森合志 現在の状況 ～

第13号

令和3年1月発行

- 発行者 菊池環境保全組合
- 関係市町/菊池市・合志市・大津町・菊陽町
- 令和3年1月発行（第13号）
- 問い合わせ先 菊池環境保全組合 建設推進課

TEL (096)293-2555 FAX (096)293-3350

HPアドレス <http://www.kikunanseisou.or.jp>

Eメール info@kikunanseisou.or.jp

令和3年4月から供用開始するため ごみ焼却施設の試運転を開始しました

令和3年1月4日(月)から、ごみ焼却施設で実際にごみを燃焼させる試運転を開始しました。また、周辺地域18行政区の代表者で構成された新環境工場等環境保全協議会で現場視察を行い、排出ガスが協定値を遵守していることを確認しました。

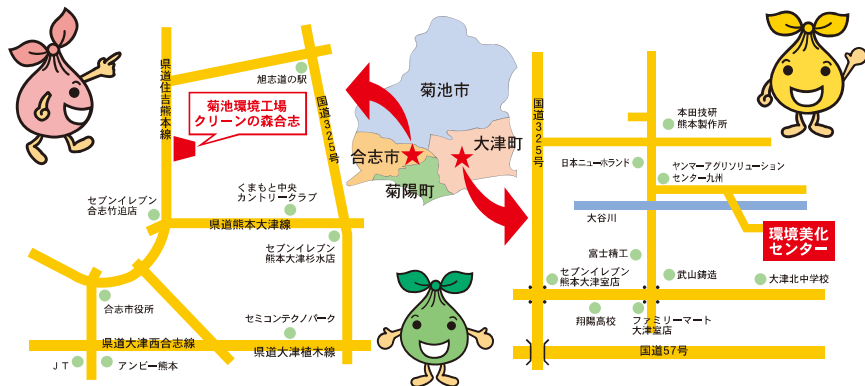


令和3年2月1日から、「燃やすごみ」「可燃性粗大ごみ」 の直接持込の場所が変わります

菊池市、合志市、大津町、菊陽町の一般家庭から排出される「燃やすごみ」「可燃性粗大ごみ」の持込先が、令和3年2月1日(月)から、「菊池環境工場クリーンの森合志」(合志市幾久富460番地)に変更となります。

「エコ・ヴィレッジ旭」、「東部清掃工場」では、受け入れできなくなりますのでご注意ください。

※「燃やすごみ」「可燃性粗大ごみ」以外の受け入れは、いままでどおり、「環境美化センター」(大津町大津115番地)での受け入れとなります。(ただし、菊池市(泗水町以外の区域)から排出されるものは、令和3年4月1日(木)からの受け入れとなります。)



問合せ先：菊池環境工場クリーンの森合志
TEL 096-248-0330
(きくち環境テクノロジー株)

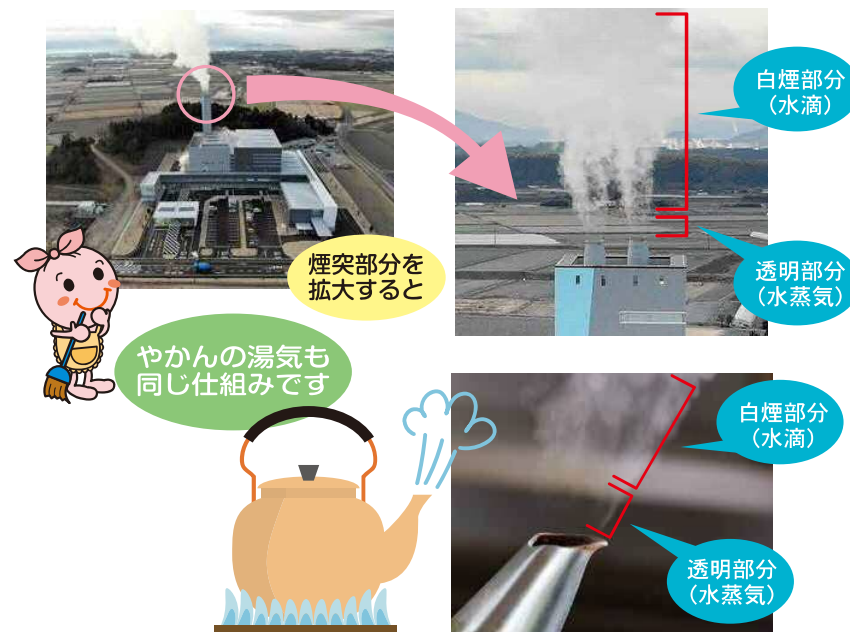
問合せ先：菊池環境保全組合立環境美化センター
TEL 096-293-1222

煙突からの白煙について

煙突から「白煙」が見えることがあります。これは適切に処理された排ガス中の水蒸気が、大気で急激に冷やされて、水滴になることにより煙状になって白く見えるものです。

この現象は、冬場に吐く息が白く見えるのと同じで、気温が低い日、湿度が高い日に発生しやすくなります。また、見る場所によっては、光の加減により灰色に見えたりすることもあります。

一般的には、「ばい煙」は煙突先端からすぐに煙が見え、水蒸気の「白煙」は煙突先端と白煙の間に透明な部分があるため、その違いが分かります。



ごみの臭いについて

焼却炉運転中は、ごみピット内から空気を焼却炉に吸引しているため、臭気が外に漏れない仕組みとなっています。また、吸引した空気も、燃焼することで臭気を分解するため、煙突からも臭いは漏れません。

焼却炉停止中(点検時等)は、活性炭を使用した脱臭装置を稼働することで、臭気が外部に漏れないようにしています。